



保育随想

★ 夏祭り！

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず！という表現されますように、幾らかの違いはありますが、同じように季節は回って来るのです。私達も季節の移り変わりの中で、其の季節ならではの経験をしながら、思い出作りをして来たと申せましょう。

ここ数年、コロナ禍で実施できなかった、夏のお祭りは取り分け思い出に残るものです。今年はやれていますね～！嬉しいことです。幼い頃の忘れられない思い出も残ってお出での事と思います。地元の春日部市でも古利根川沿いから上がる花火と市内の大通りに沢山の人が集まり、お神輿が回り、沿道にも楽しみな食べ物や遊べるお店が並び、その中に身を置いて居るだけでも高鳴るものです。大勢の人が作り出すお祭りの雰囲気は、みんなが楽しそうで良いものです。毎年、父に連れられて行き、お蕎麦屋さんで食べる食事もお父さんの思い出と重なります。老いも若きも、そして幼子も笑顔の中で群れて生きることは楽しいものです。取り分け、祭りに参加出来ている人たちの姿は周囲にも幸せを放っています。地元の知人友人と一緒に楽しみ、見物の方々から応援を頂く舞台は応えられない喜びの時間かと想像します。大人も子ども地域で楽しめる機会が無くなりつつありますので、みんなの力で続けて貰いたいものです。実は、その後の人生の歩みにも、思い出にとどまらず、自分自身の誇り、生まれたところの誇りに成っていることに気付きます。やれることより、やった経験があることに意味があります。

そんな思いが有りまして、幼稚園も行事で育つ幼稚園生！と知らず知らずに思い込んで日々の活動にも取り組んでおります。幸いにも子ども達も群れて、みんなと一緒にやるのが大好き、相談して一つの物を作ることも大好き、楽しそうです。周囲にいる大人が教えることを超えて、子ども同士で考えて育ちあう生活がなんと多いことか！あの大きなお祭りと同じように、子ども達も考えて相談して一緒に生活することを楽しんでいきます。この土日で、年長組さんたちが、さしま少年自然の家にお泊り保育に行きました。目標は、みんなと一緒に生活を楽しむ中で、身の回りのことを自分でやろうとする体験であります。今まで出来なかったこと、いや、やらなくても良かったことが自分で出来ている自分は、やはり次への意欲につながります。また、二学期には総合活動としての運動会も予定しております。お祭りを計画する方々と同じように、参加者一人ひとりの運動会として支援して行くのが私たちの役目です。自分ではやっているつもりなのですが、見せ合ったりしながら、自分が意識するところに気付く動きは新しい発見に成ります。お祭りの大人同士での意思の疎通を、子ども達も同じように、声を掛け合って作り上げる運動会なのであります。幼稚園の生活も言ってみれば、お祭りの連続と申せましょう。お祭りが終わって、お酒を酌み交わす気持ちも、子ども達は味わっております。お酒は大人に成ってから！